

JAバンク神奈川のトピックス

「JA農機ハウスローン」～農業者応援キャンペーン～実施



農業機械展示予約会の様子

JAバンク神奈川では組合員をはじめとする農業者に対し、きめ細やかな金融ニーズに応えるため、一定期間金利を引き下げた「JA農機ハウスローン」～農業者応援キャンペーン～を平成24年6月～9月、平成24年12月～平成25年3月の合計8カ月間にわたり実施いたしました。

また、平成24年8月3日(金)・4日(土)および平成25年2月1日(金)・2日(土)に開催された、全農かながわ主催の農業機械展示予約会において、来場者の方々にチラシ・粗品を配布してPRを行うとともに、ブースを設置し、ローンの相談にお応えしました。

県域独自の利子助成による農業者の経営サポート

JAバンク神奈川では全国のJAバンクと連携し、JAバンクアグリサポート事業の一つである「農業関連ローン利子助成事業」の利子助成対象外となる借入(JA農機ハウスローン100万円未満、農業近代化資金500万円以下の借入)に対して、県域独自の利子助成措置を講じ、農業者の経営を支援しています。

「特定信用事業代理業務」の取扱開始

JAバンク神奈川では、住宅ローン伸長策としてこれまで取り組みが手薄だった住宅メーカー等への営業強化を目的に、平成24年10月より「特定信用事業代理業務」の取り扱いを開始し、県域段階での住宅ローン営業推進態勢を確立するため、『JAバンク神奈川ローンセンター』を設置しました。

平成25年4月より、当センターを拠点に県域集中的な住宅メーカー等営業を展開し、JA・信連一体となり住宅ローン伸長に取り組んでいます。

TPP断固反対!!!

TPP(環太平洋経済連携協定)は例外のない関税撤廃を原則としているため、農林水産業への打撃により地域経済・社会や国の食料自給率に大きな影響が及ぶだけでなく、医療や食の安全・安心などにかかわる仕組み・制度が変更を余儀なくされ、私たちの生活が一変してしまう可能性があります。

このためJAバンクを含むJAグループでは、消費者団体、医療関係団体、農林水産業団体など、様々な団体等と連携し、食と暮らし、いのちを守るため、断固反対の運動に取り組んでまいります。



TPPに関する街頭アンケートの様子

Topics of JA BANK Kanagawa

JAグループ神奈川ビルの建設

JAグループ神奈川では現在新たな拠点として「JAグループ神奈川ビル」を建設しています。

当ビルは、今までグループの拠点であった「神奈川県中央農業会館」を建て替えるもので、高い耐震性能を有する中間層免震構造を採用した地上9階・地下1階建てとなっており、①安全・安心と事業継続性の確保、②グループ間連携を発揮し快適で機能的なオフィスの創造、③維持管理コストの低減と環境への配慮をコンセプトとしています。

また、現在のJAの前身にあたる神奈川県産業組合の本部事務所として昭和13年(1938年)に建てられ、約74年間にわたりJAグループ神奈川の活動拠点として使用してまいりました「旧神奈川県産業組合館」が、戦前の横浜の都市形成の歴史を物語る遺構として、平成25年1月30日、横浜市の定める歴史的建造物に認定されました。

今後は「JAグループ神奈川ビル」の建設とあわせ、「旧神奈川県産業組合館」の壁面の一部保存および外観を復元のうえ、歴史的建造物として保全活用してまいります。



横浜市歴史的建造物の認定証



旧神奈川県産業組合館



JAグループ神奈川ビルイメージ図

「第44回全日本大学駅伝対校選手権大会」をJAバンクがサポート!



JAバンクは平成21年度より、「秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選手権大会」に特別協賛しています。第44回大会においては、平成24年6月から9月にかけて全国8ブロックで地区予選が開催され、サポートメンバーとして、選手への応援を行い、大会を盛り上げました。

11月4日(日)に開催された、名古屋市熱田神宮西門前から三重県伊勢市の伊勢神宮内宮宇治橋前までの8区間・106.8kmにおよぶ本大会においても、JAバンクテレビCMの放映、選手ゼッケンやゴールテープへの「JAバンク」ロゴ表示、沿道での横断幕の掲示など、広告PRを展開するとともに、沿道の観衆の皆さんと各所で選手へ熱い応援を行いました。

横浜スタジアムへ「JAバンク神奈川」の広告掲出

横浜スタジアムは、地元プロ野球球団である横浜DeNAベイスターズの本拠地としてだけでなく、学生野球・その他スポーツイベントおよびコンサートでも活用されており、JAバンク神奈川のPRの一つとして、広告の掲出を行っています。

ごあいさつ

皆さまには、日頃から神奈川県信用農業協同組合連合会（略称「JA神奈川県信連」）をお引立ていただき、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年設立以来県下JAとともに「農業の専門金融機関」として農家経営の向上に資するとともに、「地域金融機関」として組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指した業務展開に努めてまいりました。

この度、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、最近の業績や業務内容をとりまとめた「DISCLOSE 2013」（ディスクロージャー誌）を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

平成24年度のわが国経済は、厳しい雇用・所得環境が続く一方で、年末の政権交代以降はデフレ脱却を目指した「大胆な金融緩和」への期待を背景に円高是正が進み、輸出産業を中心に景況感の改善が進みました。

このような状況のなか、当会では機動的かつ効率的な資金運用やリスク管理の徹底に努めた結果、平成24年度決算は、所期の目標を達成することができました。

平成24年度は中期経営計画の最終年度であることから、計画の完遂に総力をあげるとともに、平成25年度を初年度とする「新たな次期中期経営計画」の策定に取り組みました。

今後とも、皆さまに信頼していただける金融機関であり続けるため、業績・サービスの向上に努めるとともに、引き続きコンプライアンスの徹底、健全経営の充実等に取り組んでまいり所存でございます。

引き続き、なお一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月



経営管理委員会会長
志村 善一



代表理事理事長
齊藤 孝夫

DISCLOSE 2013 CONTENTS

ごあいさつ 4

業 績

平成24年度の経営環境と業績 6

経 営

1 経営方針 8

2 貸出方針 9

3 リスク管理 10

4 コンプライアンス 17

5 不良債権の状況 24

6 JAグループ神奈川の
地域貢献への取り組み 27

業 務

1 JAグループの組織と役割 32

2 JA神奈川県信連の基本的使命 32

3 JA神奈川県信連の業務 33

4 JAバンク神奈川でご利用いただける
各種金融商品・サービス 36

データファイル 39

索 引 94

※当冊子は農業協同組合法第54条の3に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
※金額・諸比率は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。